

## TOPICS

## 大学等進学率、5年ぶりに上昇 ～平成17年度学校基本調査（速報）～

平成17年度学校基本調査奈良県結果（速報）によると、平成17年5月1日現在の、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の園児・児童・生徒数は前年度に比べて減少した。一方、高等学校進学率、大学等進学率は前年比ともに上昇、特に大学等進学率は前年度比2.8ポイント上昇して54.1%と、5年ぶりの上昇となった。

## ■園児・児童・生徒数の減少続く

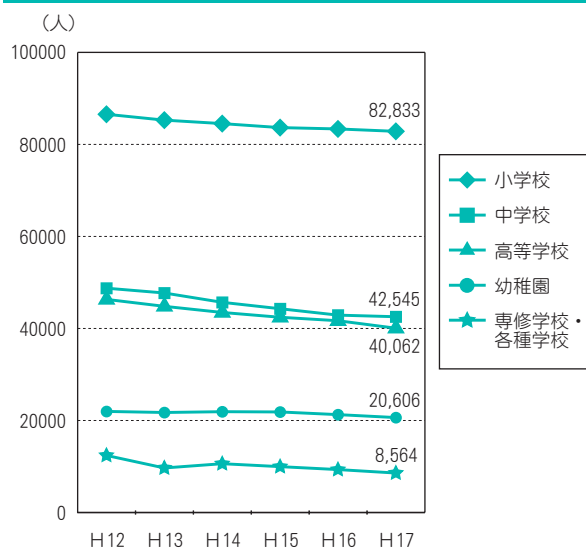
奈良県には、幼稚園が209園、小学校が241校、中学校が118校、高等学校が72校、中等教育学校（中高一貫校）が2校、盲・聾・養護学校が10校、専修学校が42校、各種学校が43校がある。

近年の少子化を背景に、小学校、中学校、高等学校などでは児童・生徒数の減少が続いている。

たとえば、小学校では、昭和57年度の13万3,167人をピークに平成17年度（5月1日現在）の児童数は、8万2,833人となっている。同様に、中学校でも昭和62年度の7万256人をピークに4万2,545人に、高等学校でも平成2年度の6万678人をピークに4万62人に生徒数が減少している。（図表1、2）

奈良県は合計特殊出生率（1人の女性が一生に産む子供の数）が1.16と低く、全国でも東京都

図表1 園児・児童・生徒数の推移



（1.01）、京都府（1.14）に次いで下から3番目の低さとなっており、奈良県では今後もさらに児童・生徒数等の減少が続くことが予想される。

図表2 県内学校の学校数および生徒数

	学校数 (校)	同前年比 増減	生徒数 (人)	同前年比 増減
幼稚園	209	1	20,606	△635
小学校	241	△9	82,833	△536
中学校	118	0	42,545	△338
高等学校	72	4	40,062	△1,592
中等教育学校	2	0	869	58
盲・聾・養護学校	10	△1	1,023	45
専修学校	42	△3	4,090	△71
各種学校	43	0	4,474	△681

## ■大学等進学率は5年ぶりに上昇

平成17年3月の中学校卒業者は14,305人（男7,290人、女6,654人）で、前年度比1,073人減少。うち、高等学校等進学者は13,944人で、高等学校等進学率は97.5%（男97.5%、女97.4%）と、前年度より0.2ポイント上昇した。奈良県は全国平均の97.6%をやや下回り、全国順位では第30位（前年は37位）となっている。

一方、高等学校卒業者は13,563人（男6,743人、女6,820人）で、前年比46人減少した。うち、大学等進学者は7,343人（男3,568人、女3,775人）で、卒業者の半数を超えている。

奈良県の大学等進学率は、平成12年の54.7%をピークに下降線をたどってきたが、平成17年は54.1%と前年比2.8ポイントアップ、5年ぶりの上昇となった。男女別では、男が52.9%と前

年より3.8ポイント上昇、女も55.4%と前年より1.9ポイント上昇している。大学等進学率は、以前から女子の方が高い傾向がみられるが、平成12年以降徐々にその差は縮まってきている。(図表3)

奈良県は教育熱心な土地柄であるともいわれ、大学等進学率は全国平均(47.3%)を6.8ポイント上回っている。そのため、全国順位は全体で5位(前年第7位)、男女別でも、男女とも第4位と高位につけている。

大学等進学者の内訳では、大学(学部)への進学者は5,968人(男3,433人、女2,535人)で、前年より319人増加。短期大学(本科)への進学者は1,367人(男130人、女1,237人)で、前年より41人増加、その他の進学者は8人(男5人、

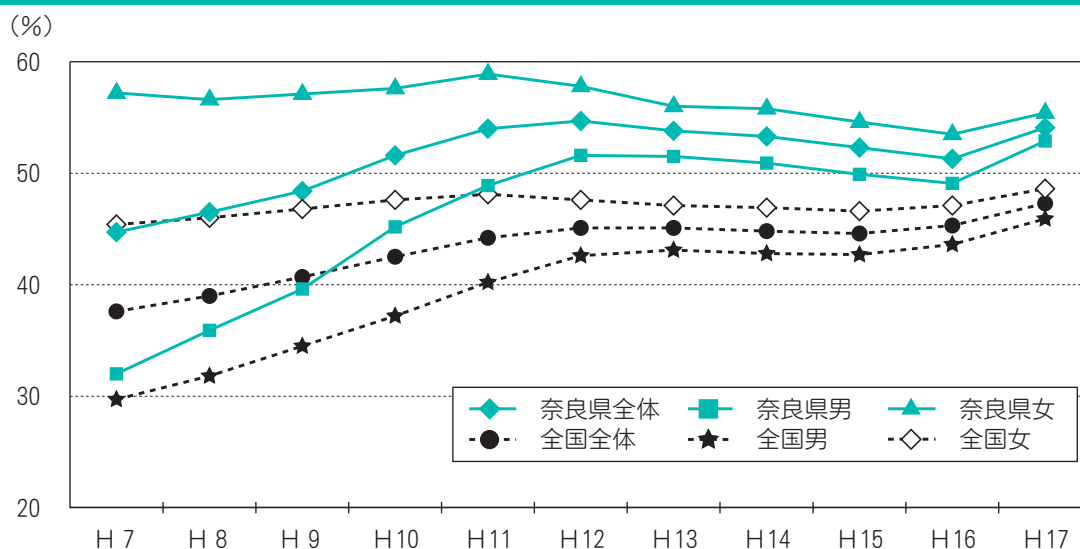
女3人)で、前年より2人減少した。(図表4)

一方、就職者については、総数が1,418人(男816人、女602人)で、前年比12人増加。就職率は10.5%(男12.1%、女8.8%)で、過去最低となった前年(10.3%)を0.2ポイント上回った。

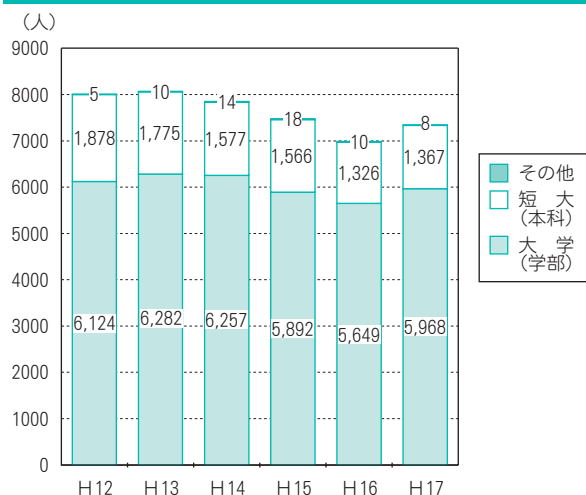
就職者を産業別にみると、製造業が594人(構成比41.9%)で最も多く、次いでサービス業191人(同13.5%)、卸売・小売業170人(同12.0%)の順となっている。(図表5)

また、上記以外の者(卒業者から進学・入学者、就職者、死亡・不詳を除いたもの。フリーター等を含む。)は1,254人(男517人、女737人)で、前年より122人減少した。

図表3 大学等進学率



図表4 大学等進学者数



図表5 高等学校卒業生の就職先の産業別割合

